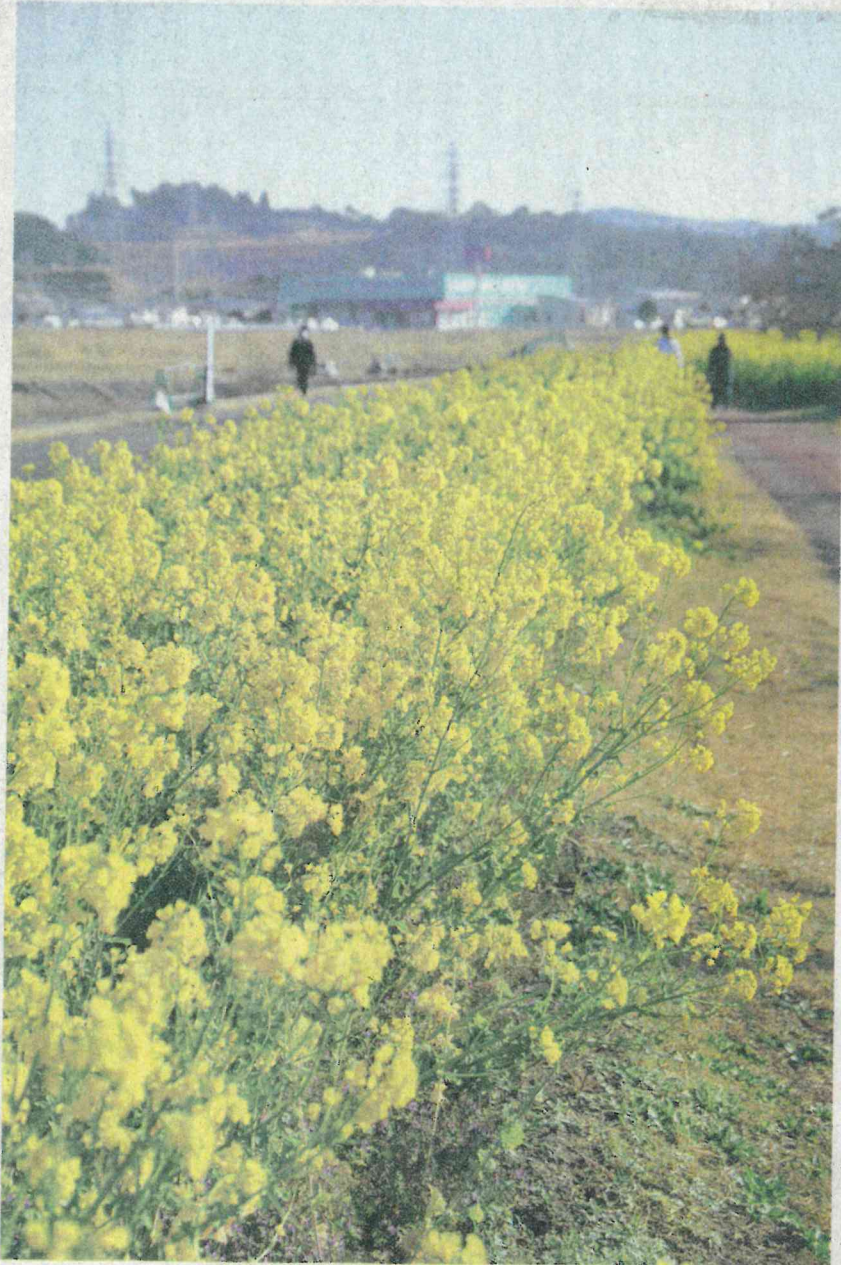


開幕 延岡花物語

3/10、11日に慧日梅観梅会
4月5日まで イベントとさまざま



五ヶ瀬川右岸堤防は菜の花が鮮やかに咲き誇る(きょう午前、延岡市野地町)

梅、菜の花、桜、ツバキ―早春の花々を楽しむ「延岡花物語2020」がきょうから始まった。暖冬の影響で花の開花満開の時期は早まる見込み。同実行委員会(谷平興「実行委員長」)によると、近年は開花期間が延びる傾向にあり、最終日の4月5日まで花を楽しめよう。

花物語期間中は10、11日の「本東寺慧日(えいち)梅観梅会」を皮切りに、さまざまなイベントが展開。メインイベント「このはなウォーク」は22〜24日、ワイワイ花宵物語」は3月20日から4月5日まで開催される。このほか、梅の名所を巡る「梅Sampo」(2月10日)、西郷隆盛のひ孫の西郷隆夫さんが案内役を務める「出合いの聖地探訪バスツアー」(2月22、23、24日)、桜と菜の花のライトアップ「桜花灯(あか)りの展示」(2月22、23日)、第31回城山ヤフツバキを楽しむ会(3月8日)など多彩な催しが予定されている。穏やかな好天に恵まれた初日は、「このはなウォーク」会場となる五ヶ瀬川右岸堤防沿いに多くの

家族連れなどが訪れ、一帯を黄色く染め上げた菜の花から出迎えを受けていた。